



## <学校教育目標>

「共感(認め合う心)・探究(学ぶ力)⇒飛躍(社会に貢献する姿勢)」

- 基礎学力の定着と自ら学ぶ力の育成 [知]
- 多様性を認め共感する力の育成 [徳]
- 生命を尊ぶ健康な心と身体の育成 [体]
- 様々な他者と関わり合い、社会に貢献する態度の育成 [公・関]

発行 横浜市立瀨谷中学校

校長 市村 美穂子

住所 瀨谷区中央5-4-1

TEL 301-0096 FAX 301-0099

## R8年度スタート!正義が通る学校に

折り紙を使った生徒作品



校長 市村 美穂子

すでに葉桜となってしまいましたが、春の花々に祝福をされながら、入学した226名の新入生を加え、全校生徒736名で令和8年度の瀨谷中学校の教育活動がスタートしました。着任式、始業式に体育館に集まった2、3年生の皆さんの表情からは、「今年こそ勉強をがんばる」「いい一年間にしたい」という新たな決意が読み取れました。3年生は「瀨谷中の顔」として、2年生は「中堅」として、新しく入学した一年生を導きながら、今年度創立80周年を迎える瀨谷中学校の歴史を築いていってほしいと思います。

さて、今年度の生徒会のスローガンは、「自他共栄(じたきょうえい)～個性を認め合う～」。「自他共栄」とは、「自分と相手が互いに信頼・協力し合い、共に栄える(幸せになる)こと」を意味する言葉で、もともとは、講道館柔道の創始者である加納治五郎(かのうじごろう)が提唱した柔道の根幹理念。「自分一人だけ強くなればいいのかではなく、相手がいて初めて自分が磨かれる」というところから来ている言葉なのだそうです。学校教育目標にも通じる言葉で、いい言葉を選んでくれたなあ嬉しく思っています。



渡り廊下に掲げられたR8生徒会スローガン

学校では自分以外に700人以上の様々な他者がいて、共に生活する中で、様々な考え方・感じ方・人格と触れ合い、時にはぶつかり合うことも出てきます。そんな中で、ちょっと合わないからといって、「あの人は合わないから話したくない」「一緒のグループ(クラスやチーム)で過ごしたくない」と弾(はじ)いてしまうのは、もったいない。互いの人間性や感じ方の違いを受け入れ、時には折り合いを付けたり、学び合ったりすることで、自分が磨かれ成長する。そう考えてほしいのです。

そして、始業式・入学式でお話しした通り、「正義が通る学校」にしたいです。生徒の皆さんに「どんな学校にしたい?」と聞いたことがあったのですが、「学年を超えて仲の良い学校」「いじめのない、明るい学校」という声がとても多かったです。そんな学校を創るのは、他の誰かではなく、皆さん一人ひとりで、「困っている人や悩んでいる人に対して、見て見ぬふりをしない」「いじめや仲間外れなどを許さない」風土をみんなで創っていきましょう。もちろん、瀨谷中の職員一同、一緒に考えていきます。

保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様、今年度瀨谷中は、新たに19名の職員を迎え、総勢63名のスタッフで、学校教育目標の実現に向けてチームとして取り組んでまいります。本年度も、瀨谷中学校の教育活動に対するご理解・ご協力いただけると幸いです。よろしくお願いいたします。

# 令和8年度 横浜市立瀬谷中学校 職員組織

○印は本年度着任職員です。

	1年	2年	3年			
生徒数	226名	247名	263名	校長	市村 美穂子	
学年主任	○黒木 寛久	関口 孔紀	猪股 誠	副校長	千葉 晋輔	
1組	長岡 祐記	稲葉 裕生	人見 拓也	教務主任	緒方 悠	
2組	山本 英未	梅村 智絵	○最所 陸	生徒指導専任	成田 俊太郎	
3組	井上 郷子	古田 蓮武	久保 菜摘	養護教諭	國友 雅代	
4組	○大竹 直樹	花澤 郁代	○多田 大樹	養護教諭	佐藤 美智代	
5組	小林 弥央	岡村 日向	原 信吾	学校事務	塩野 民恵	
6組	○岡本 海来	田辺 唯	池田 廉	学校事務	梶原 由紀子	
7組	前川 仁志		木村 真命	学校用務員	白岩 綾	
11組	米谷 彩 澤野 元			学校用務員	塚原 直輝	
	○松元 章 ○齋藤 美宇			AET	Jonathan Mariano	
	○濱砂 佑基 ○齋藤 弥音			校内ハートフル支援員	池ヶ谷 尊子	
学年所属	○松山 拓矢 末松 詩織 宮川 勉 成島 昌子	緒方 悠		山本 大祐	学校司書	平瀬 仁美
		○前田 雄輝		藤沼 亜希子	スクールカウンセラー	河野 裕子
		○竹内 実優		青木 京子	職員室アシスタント	植田 幸恵
		中島 美由紀		藤井 優	ICT支援員	篠村 勝美
		木下 一美		○高橋 杏実	校医（内科）	金田 遼
		○細野 令子		夏目 嵩也	校医（歯科）	山之内 正己
		原田 秀人		原田 恵子	校医（眼科）	和久井 登三子
					校医（耳鼻咽喉科）	中川 貴仁
					学校薬剤師	内山 彰

## 「個に応じた支援の充実を目指して」

本校では生徒一人ひとりの特性や課題を把握し、保護者の皆様と連携して、個に応じた特別支援教育を推進することを学校教育の重点として掲げています。何かございましたら相談窓口に遠慮なくご連絡ください。

◎相談窓口（特別支援教育コーディネーター）藤沼 亜希子、米谷 彩、猪股 誠、黒木 寛久  
青木 京子、緒方 悠、夏目 嵩也  
多田 大樹、田辺 唯

## 「いじめ相談窓口」の設置について

いじめは深刻な人権侵害であり、絶対に許されない行為です。

本校においても「いじめ相談窓口」を次の通り設置いたしますので、お知らせします。

### ◎いじめ相談窓口

- ・各学級担任
- ・各学年主任
- ・生徒指導専任教諭 成田 俊太郎
- ・人権教育推進担当教諭 稲葉 裕生
- ・養護教諭 國友 雅代
- ・養護教諭 佐藤 美智代

### ◎教育委員会相談窓口（一般教育相談）

- ・教育総合相談センター TEL 045(671)3726

## <生徒証の配付について>

年度当初に配布している生徒手帳については、昨年度から生徒証に変更となっています。

生徒証の配付は4月10日以降になる見込みです。

※生徒証の発行前に、バスや電車の通学定期券を購入する場合は、担任にご相談ください。